

読者からの寄稿 <<ミスターEのアメリカとエレベーターの情報>>

第9回 「われらのスーパーヒーロー」

こんにちは。ミスターEです。話題がエレベーターからはみ出ることも多いため、タイトルを微妙に変えました。今回のテーマはエレベーターに閉じ込められたとき、わたしたちを助けてくれる頼りになる存在についてです。

1. ミスターE?

私の職場には日本の消防隊ではなく、独自の消防隊があります。自前で消火、救助活動を行うことが宿命です。なぜなら日本の消防隊が自由に立ち入ることができないエリア、つまりアメリカの管理の下にある場所だからです。

私が働いているのは「日本の中のアメリカ」米軍岩国基地です。この基地の建物の消火をになう消防隊員は、日本人で構成されています。彼らにはエレベーター技術員の助けを借りず、閉じ込められた乗客を助け出す技術があります。

彼らが救出技術を習得したのには理由があります。エレベーター技術員の多くは40km程度離れた広島市が拠点であり、過去には閉じ込めが起きたとき、技術員の到着までに1時間以上かかるケースがあったこと。軍事基地ということで、入門パスを取得していない技術員は、近くにいたとしても入れないという事情もありました。また、閉じ込め現場に出動しても、自ら救出する技術がないジレンマを解消したいと、基地消防隊から申し出があったことも大きな理由です。

ミスターEはこの基地で、消防隊とともに独自の訓練プログラムを考え、救出技術の向上に磨きをかけるお手伝いをしてきた者です。が、わたし自身は救助する存在ではありません。

2. 基地消防隊の実力

私はエレベーターからの救出パターンを、独自に以下の4種類に分類しています。

(1) そのまんまパターン

かごを動かしたりすることなく、乗り場戸のロックを外して開き、そのまま助け出せるパターン。乗り場床からかご床までの段差が、上下60cm以内の場合です。以下「60cmルール」と呼ばせてもらいます。



写真1 そのまんま救出できる場面

(2) 救出口パターン

かご上にある救出口から助け出すパターン。直上の階からかご上に降り、救出口からかご床へはしごをおろして乗客を助け出します。

読者からの寄稿 <<ミスターEのアメリカとエレベーターの情報>>



写真2 かご上にある救出口のふたを開けた状態

(3) ぶっ壊しパターン

戸をこじあげ、または破壊して救出するパターン。強力なパワーですき間を広げるスプレッダーという道具や、バールなどで戸を強制的に開いたり、電動カッターで戸の一部を切断したりして救出します。



写真3 スプレッダーによる戸のこじ開け訓練

(4) ブレーキ解放パターン

かごが階と階の間に停止しているとき、ブレーキを解放し、かごを上下階レベル付近まで移動させて救出するパターン。ブレーキ解放レバーとハンドルを取り付けて手巻きするケースや、ワイヤーを解放器具につないで引っ張り解放するケース、さらに乗り場パネルを取り外してリモコンをつなぎ、電動で解放するケースなどがあります。また、ブレーキではありませんが、油圧エレベーターでは手動降下（下降）弁を開いてかごを下げるパターンもあります。



写真4 ブレーキ解放用器具を取り付けた状態

消防隊にとっての難易度は(1)から順に(4)に向かって上がり、より訓練を積む必要が出てくると考えています。(2)救出口パターンや、(3)ドアを破壊するパターンの方が難しそうに思えますが、日ごろ類似する訓練を積んでいる消防隊にとっては、(2)と(3)はその応用であり、難易度の順番が変わってくるのです。なお、隣のエレベーターからの救出はこの基地にはないため、パターンに入れておりません。

エレベーターメーカーの技術員は、保守契約しているエレベーターしかさわれないようです。メーカーのプロ

読者からの寄稿 <ミスターEのアメリカとエレベーターの情報>

でも自社のものの救出のみを担い、(2)と(3)はほとんどやらないでしょう。

岩国基地には6つのメーカーのエレベーターがあります。あらゆる状況のもとで、これらから閉じ込められた乗客を救い出すことができる基地消防隊は、ヒーローであると言っていいと思っています。

先日起きた閉じ込めは「(1)そのままパターン」でしたが、かご内の非常用電話による通報から救出完了までが9分でした。

3. エレベーター救出のスーパーヒーローは？

南海トラフ地震が起きると、最大23,000人がエレベーター内に閉じ込められるとの予測が内閣府のサイトにあります。救出に向かう道路は寸断され、交通手段は完全にまひすることが考えられます。

その中をエレベーター技術員たちは救出に向かわなければなりません。エレベーター技術員自身が被災することも考えられます。無事な技術員も、激しい渋滞に巻き込まれ、現場に到着できるのはいつになるか予測がつき

ません。

最大震度が7のエリアには次第に救助が集中して入るでしょう。また、残念ながらそのエリアでは建物の倒壊によってエレベーター内でお亡くなりなる方たちも出ると思われれます。しかし、建物もエレベーターも無事だけれど、救出されるのに時間がかかりすぎるケース、「震度5~6」の地域が盲点になっている、後手に回る可能性がないでしょうか。

未曾有の大災害が起きたとき、誰がヒーローを超えるスーパーヒーローになりえるでしょうか。ミスターEなりの意見はあるのですが、救出には危険が伴い、実現への道は容易ではないと思われれます。ですので、この機会にみなさんと、最適な答えは何か考えてみませんか。

この意見がきっかけでスーパーヒーローの像が明らかになり、いざというときに乗客を救ってくれる正義の味方になってくれることを切に祈っています。それらを私たちの業界がリードできたら最高ですね。この国はいろいろな天災から逃れられない運命なのかもしれません。